

カテゴリー：復興・防災
プロジェクト名：被災地支援・復興の発信

2017 年 10 月 20 日
総務局

「みやぎの復興まちづくりパネル展 in TOKYO」の開催

宮城県では、東日本大震災による津波で沿岸部を中心に壊滅的な被害を受けました。あのときから 6 年半が経過し、薄らいでいく震災記憶の風化を防止していくとともに、現在の宮城県の復興の姿を紹介し、都民の皆さんをはじめ多くの方からいただいた支援に対する感謝を伝える「みやぎの復興まちづくりパネル展 in TOKYO」を開催しました。（10 月 18 日（水）から 20 日（金）までの 3 日間、都庁第一本庁舎 45 階南展望室にて）

会場では、津波被害のあった石巻市や南三陸町など、宮城県沿岸 15 市町の発災直後の状況と現在の復興状況の写真パネルなど 30 点の展示のほか、パンフレットを配布しました。また、国内外の多くの方に宮城県の姿を見に来ていただけるよう、観光ポスターの掲示や観光パンフット（多言語版も用意）の配布なども行いました。

開催期間中は、展望室に来て目にとめていただいた方のほか、SNS での事前案内や庁内放送を聞いてお越しいただいた方など、延べ 7,147 名の方にご来場いただきました。また、海外から展望室にお越しになった多くの方にも熱心にご覧いただき、「被災地・宮城の今を知ることができて良かった」とのお声もいただきました。

被災地・宮城の復興は、進んだとは言え未だ途上です。引き続きのご支援をお願いするとともに、東京 2020 大会でサッカー競技の一部試合が予定されている宮城県をぜひ訪れていただければと思います。



パネル展示



パネル展示



来場者の様子



観光案内ブース

（お問い合わせ）

総務局復興支援対策部 電話 03-5388-2344